

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年 ニュース・イベントピックアップ (それぞれをクリックして詳細へ)

- 1月6日 [月刊「計装」2020年1月号特集「産業IoT時代のリモートモニタリングの新たな可能性」でSL-GMSおよびRTViewの関連記事掲載:](#)

「リモートモニタリングにおけるプラントオペレーションの可視化
～中央制御室からクラウド運用の監視まで～」

- 3月2日 [SL-GMS Developer for .NET ならびに Custom Editor for .NET オプションの新バージョン 5.2a をリリース:](#) [右下画面]

Windows 10, Windows Server 2019, Visual Studio 2019 をサポートしている新V5.2aで、対話的なしきい値の変更に伴う棒グラフ色の更新とデータ値表示、カーソルによる対話的な折れ線グラフ値の確認、新しいステップグラフを追加

- 3月6日 [新型コロナウイルス感染拡大防止のため、IoT World Conference 2019 拡大版セミナーを延期のち中止、営業時間の短縮・繰上 \(6月で終了\)、一部テレワーク導入ならびにオンライン Web 会議への切替えなどで対応](#)

- 7月30日 [.NET ベースの 64 bit 版 SL-GMS が、日新電機の新しい水処理向け監視制御システム「AQUAMATE-8000」シリーズの開発で採用:](#)

今後の上下水道施設運営を支える AQUAMATE-8000 のグラフィック操作画面 (GUI) が .NET 版 SL-GMS で開発された他、システム専用のカスタムエディタが製造やテスト工程などに適用 [事例より右画面]

- 9月14日 [待望の HTML5 版 SL-GMS Web/Developer 新製品をリリース:](#)

従来の SL-GMS (C++, Java, Microsoft .NET) 製品と同じ高対話性かつ高性能なダイナミック GUI/HMI を、比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換して Web でクラウド運用可能に [右下写真]

- 9月15日 [代表取締役社長である羽島 良重が、第22回 ARC ジャパンフォーラム \(オンライン\) における「オートメーションの最新動向、データ活用と Covid-19 対策」セッション内で講演:](#)

「事例で見る、制御システムの可視化における開発・運用動向
～中央制御室からリモートモニタリング、クラウド運用まで～」

- 9月23日 [RTView カレントバージョン 7.2 で最新データベース3種のサポート追加:](#)

リアルタイムデータの可視化と監視ダッシュボード構築ツールである RTView のカレントバージョン 7.2 で、クオリティアシュアランスによる接続テストを経て、最新の PostgreSQL 12, SQL Server 2019, MySQL 8 を正式にサポート追加

- 10月27日 [SL-GMS C++/Developer 新バージョン 7.2a をリリース:](#)

監視制御システム (DCS/SCADA) のダイナミック GUI と専用カスタムエディタの開発で、1980年代より進化し続けてきたロングセラー

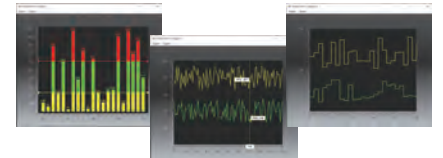
- 11月10日 [月刊「計装」2020年12月号特集「スマート工場へ適応する監視制御システム - その役割と進展方向」で、HTML5 版 SL-GMS 新製品の関連記事掲載 \[裏面に詳細\]:](#)

「スマート可視化 (HMI)」の実現 ～HTML5 で制御室からクラウドへ」

- 12月25日 [SL ジャパンは 2020年度 \(12月決算\) の利益の一部から、日本赤十字社に 500,000 円を寄付しました。](#)



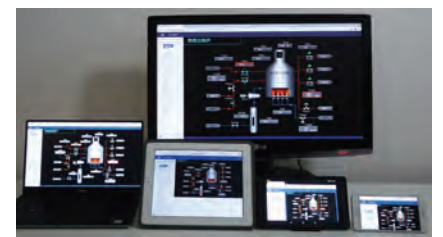
複数の現場からデータベースに集約される異種 IoT データの監視ダッシュボードを RTView でクラウド運用



NET 版 V5.2a と C++ 版 V7.2a SL-GMS 新バージョンで追加された対話的な動的グラフ



日新電機 (株) 様事例より:
AQUAMATE-8000 のグラフィック系統図



SL-GMS Web/Developer (HTML5) 新製品



ARC ジャパンフォーラム (オンライン) で講演



HTML5 版 SL-GMS 新製品の関連記事 @ 月刊「計装」

ローカル/リモートデスクトップ運用のSL-GMS グラフィック操作画面を、比類なく高対話性で高性能な HTML5 に変換する SL-GMS Web/Developer 新製品【新デモビデオ】

Web ブラウザでオンプレミスまたはクラウド運用

1990年代にUNIX版のSL-GMS C++/Developerを使って開発された石油精製プラント制御システムのグラフィック系統図画面は、数千個ものオブジェクトと変数名で構成されています。

その後、このグラフィック系統図画面はUNIX版からLinux版SL-GMS C++/Developerで、さらにSL-GMS J/Developer(Java)、SL-GMS Developer for .NET(Microsoft .NET)で稼働し、さらにデスクトップ運用されている同じ画面を透過的に外部クラウドのデモサイトでリモートデスクトップWebアクセス運用しており、お客様へログイン/パスワードにより公開しています。

そして、この同じグラフィック系統図画面をそのまま変更することなく、HTML5版のSL-GMS Web/Developerのコードジェネレータを使って、高対話性ながらも比類なく高性能なHTML5に変換し、Webブラウザでオンプレミスまたはクラウド運用できます。

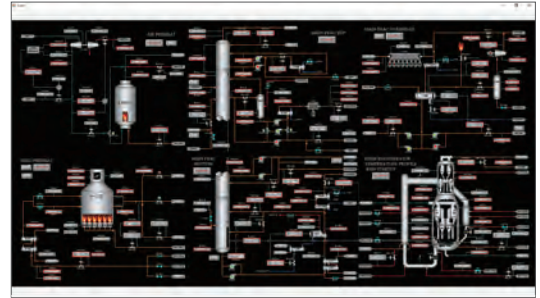
従来のSL-GMS製品(C++, Java, .NET版)と同じSL-GMSDrawエディタで対話的に作成したm1形式のグラフィックモデルは、m1htmlコードジェネレータを起動してHTML5ファイルに変換します。そして、変換したhtml形式のモデルファイルを読み込んで表示するためのJavaScriptランタイムライブラリ(API)と、カスタム機能(画面初期化、データ変数の定期、変数データ値の更新など)を含む、ブラウザアクセス用のhtmlサンプルファイルを提供しています。

変換したhtmlモデルファイルとともに、JavaScriptランタイムライブラリとサンプルをカスタマイズしたhtmlファイルをWebサーバに配置し、ブラウザでアクセスするだけで、Web運用できるようになっています。

☆「グラフィック系統図をHTML5に変換してWeb運用」新デモビデオ(2分38秒):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/gmsweb/WebDev_PetroleumPlant/WebDev_PetroleumPlant.html

.NET版SL-GMSでリモートデスクトップ運用:



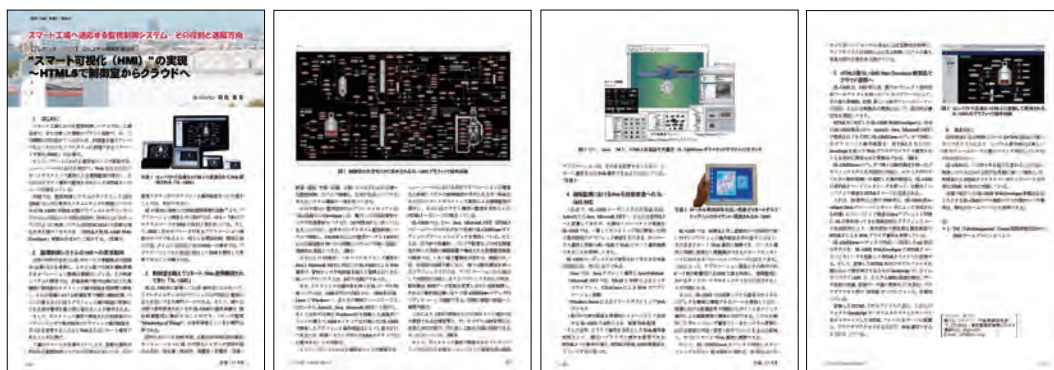
↓ HTML5に変換
クラウドでWeb運用:



月刊「計装」2020年12月号特集「スマート工場へ適用する監視制御システム-その役割と進展方向」

SLジャパン執筆記事「“スマート可視化(HMI)”の実現~HTML5で制御室からクラウドへ」

工業技術社出版の月刊「計装」2020年12月号 Vol.63 No.12 p.46-49に、SLジャパンが執筆したHTML5版SL-GMS新製品関連記事が記載されました。<https://www.sl-j.co.jp/products/resources/keiso2012sl-j.pdf>



1. はじめに…スマート工場における監視制御システムでは、工場全体でまた分散した複数のプラント施設で、今、この瞬間に何が起きているのかを、制御室を越えていつでもどこからでもリアルタイムに把握できる「スマート可視化(HMI)」が必要だ。そして、プラントにおける運用面コストや要員不足、ニューノーマルにおける対応で、Web化ならびにリモートデスクトップ運用による遠隔監視が進行し、さらにはクラウド運用の監視を目的としたHTML5へのニーズが高まっている。
2. 監視制御システムのHMIへの要求動向
3. 制御室を越えてリモート/Web運用展開されてきた「SL-GMS」
4. 遠隔監視におけるWeb化技術変遷へのSL-GMS対応
5. HTML5版SL-GMS Web/Developer新製品でクラウド運用へ
6. おわりに…10年前後におよぶ制御システム(DCS/SCADA)の長いライフサイクルにより、システム更改時には新しいOSやフレームワークに最小コストで対応していかなければならない。SL-GMSは、この何十年を経ても変わることのない制御システムにおける移行を長期に渡って提供し、今、制御室からHTML5でクラウドへ向かうスマートな可視化(HMI)を強力に支援している。

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2021年1月14日発行 通巻68号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。